

作山古墳(総社市)

つくりやま 作山古墳は全国第10位、岡山県下第2位の規模を誇る前方後円墳で、岡山市の造山古墳(全国第4位、岡山県下最大)に次いで5世紀中頃に築造された/
左手が前方部、右手は後円部/南側から見たところ

 [video](#)



丘陵を三段に整形加工した斜面と平らな面からなる墳丘は、現在草と木で覆われ一見山にしか見えないが、築造当時は平らな面に5千本以上の埴輪が立て並べられ、斜面には石が敷き詰められていたと云う/西側の駐車場に説明板等が立っていた

[video](#)



かなり劣化していて文字が霞んでいる/下記は文字起こしをしたもの

国指定
史跡

作山古墳

大正十年三月三日指定

つくり山と称されるほど、雄壮で巨大な前方後円墳です。

独立した小丘陵を削り、整形、加工したもので、一部に後世の
改変をうけているものの、全長約二八メートル、後円部径一七
四メートル、同高さ二四メートル、前方部長さ一一〇メートル、同
幅一七四メートルの規模をもっています。

三段に築成され、各段には密接して円筒埴輪がたち並び、斜面
は角礫でおおっています。造出しは北側には存在しますが、対照
的に南側にもあったかどうかは疑問です。

外周には周溝がなく、複数の残丘をのこすなど巨大な墳丘のわ
りには端整さを欠く面もあります。

作山古墳の規模は、全国的にみても第十位に相当し、県内では
全長約三五〇メートルで全国第四位の岡山市新庄下・造山古墳に
つくもので、古墳の規模が豪族権力の反映または象徴であること
からすれば、本墳の被葬者が吉備に君臨した大首長であることが
想像されます。

この古墳の築造は、発掘調査がおこなわれていないのであきら
かではありませんが、墳丘の形態や円筒埴輪の研究から、五世紀
中葉頃と考えられています。



昭和六年三月

総社市教育委員会

国指定史跡 作山古墳

大正10年3月3日指定

つくり山古墳と称されるほど、雄壮で巨大な前方後円墳です。

独立した小丘陵を削り、整形、加工したもので、一部に後世の改変を受けているものの、全長約282m、後円部径174m、同高さ24m、前方部長さ110m、同幅174mの規模をもっています。

三段に築成され、各段には密接して円筒埴輪が立ち並び、斜面は角礫でおおっています。造出しは北側には存在しますが、対照的に南側にあったかどうかは疑問です。外周には周溝がなく、複数の残丘をのこすなど巨大な墳丘のわりには端整さを欠く面もあります。

作山古墳の規模は、全国的にみても第10位に相当し、県内では全長約350mで全国第4位の岡山市新庄下・造山古墳につぐもので、古墳の規模が豪族権力の反映または象徴であることからすれば、本墳の被葬者が吉備に君臨した大首長であることが想像されます。

この古墳の築造は、発掘調査がおこなわれていないのであきらかではありませんが、墳丘の形態や円筒埴輪の研究から、5世紀中葉頃と考えられています。

昭和61年3月 総社市教育委員会

造出しは北側には存在するが、南側にもあったかどうかは疑問と云う/外周に周溝は無かったらしい



岡山大学学術成果リポート/作山古墳デジタル測量図より

前方部には「取り残した丘」が見られると記されている/作山古墳は畿内の大王墓と異なり、後円部は正円ではなく楕円形で前方部も台形状の突出が見られるなど、不整な形態をしており、また、前方部の前面には丘陵の一部が取り除かれず残されていることから、作山古墳に葬られた吉備の首長は、畿内の大王ほど古墳築造にける余力がなかったのではとも云われる



日本遺産 Japan Heritage

「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ~古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語~

つくりやまこふん Tsukuriyama Burial Mound

作山古墳

古墳時代中期（5世紀中頃）に築造された全長約282mの前方後円墳です。
全国第10位の規模で、県内では造山古墳（岡山市）に次ぐ大きさです。

丘陵を削り出して造った古墳で、前方部には取り残した丘も見られます。
後円部は楕円形になっており、自然の丘陵をできるだけ手をかけずに大きく見せようとしたことによるものと考えられています。

この地に大きな勢力を持つ有力者がいたことで、対立する大和朝廷が派遣した吉備津彦命が、鬼神（温羅とも呼ばれる）を退治する伝説が生まれたと考えられています。

This was the tomb of a powerful person who governed this area, built sometime in the middle of the fifth century. It is around 282 m in length, making it the tenth largest in the country, and within Okayama Prefecture it is second in size only to Tsukuriyama (造山) Burial Mound (Okayama City).

The presence of an incredibly mighty and powerful person in this area led to a fight with a prince of ancient Japan, and it is thought that this birthed the legend of the defeat of an ogre god (also known as Ura). This legend is said to be the model for the famous Japanese fairytale *Momotaro*.

駐車場から西面の墳丘を見上げたところ



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ/この道路の右手が「取り残した丘」



墳丘の周りを回ってみよう/これは北東側辺り/左手側が後円部



北西側で、前方部から後円部方向(東方向)を見たところ

 [video](#)



そこで、右手(南方向)を見たところ/左手が前方部、右手は駐車場

[video](#)



さて、北西側から墳丘に登ろう

 [video](#)



これは一段目のテラス/下草刈りをしている人たちが見える



更に墳頂を目指す

 video



こちらは二段目のテラス



墳頂が見えて来る



ここが前方部墳頂/西側から東方向に見たところ



これは前方部から後円部方向(東方向)を見たところ

 video



括れ部方向へ少し進んで、振り返って前方部を見たところ



これは括れ部辺りと後円部方向を見たところ



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



これは括れ部で、前方部方向を見たところ

[video](#)



振り返って、後円部方向を見たところ



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



さて、前方が後円部/この辺りも、もう少し早く下草刈りをしてもらえば良かったのだが・・・



ここが後円部墳頂/西方向を見たところ

 video



そこで、右手(北方向)を見たところ/左前方に説明板が立っている

 [video](#)



こちらも劣化していて良く読めない/下記は文字起こしをしたもの

国指定史跡 作山古墳

大正10(1921)年3月3日指定

全長 282m、後円部径約174m・高さ約24m
前方部前縁幅約174m・高さ約23m

国指定史跡として知られる作山古墳は、造山古墳(岡山市所在、全国最大規模の前方後円墳)に次いで、5世紀中頃に築かれた全長約1000m、岡山県最大の規模を誇る前方後円形のお墓です。

築造後約1000年経った頃、墳丘は、現在では草と木で覆われていますが、築造当初は、正面面に少なくとも5千本以上の埴輪が立て並べられていたと推定されています。

作山古墳の南側に、巨大なモニュメントは、作山古墳の南方に築かれた造山古墳の南側に、手続法に先行する道を行き交う人々に、古墳の存在を知らせる役割を果たしていたと考えられています。

また、作山古墳の南側に、正円形の後円部をもち前方部の形態も整った造山古墳の南側に、前方部が台形に突出する

るなど不整な形態をもっています。これは、長さや幅が不十分な自然丘陵をできるだけ手をかけず、長大にみせようとしたことによるものと考えられます。

畿内の大王墓にみられる二重・三重の堀が認められないこと、また、本来なら取り除くべき前方部前面の丘陵がそのまま残されていることなどからも、作山古墳に葬られた吉備の首長は、畿内の大王ほど、古墳築造にかかる余力がなかったのではないのでしょうか。

なお、作山古墳には、盗掘された大きな穴は存在しないことから、古墳の主は今も後円部の中央地下深くに眠っているものと考えられます。

平成22(2010)年3月 総社市教育委員会



作山古墳 空撮(北東から)



作山古墳 測量図(S=1/2000)

岡山県教育委員会 岡山県地測課提供



作山古墳 空撮
奈良県河合町教育委員会提供

国指定史跡 作山古墳

独立丘陵を加工して造られた作山古墳は、造山古墳(岡山市所在、全国第4位・岡山下最大の前方後円墳)に次いで、5世紀中頃に築かれた全国第10位、岡山下第2位の規模を誇る前方後円形のお墓です。

斜面と平坦面からなる三段に築かれた墳丘は、現在では草と木で覆われていますが、築造当時は、平坦面に少なくとも5千本以上の埴輪が立て並べられ、斜面には石が敷き詰められていました。

自然の景観の中にそびえ立つ巨大なモニュメントは、作山古墳の南方に存在したと考えられている古代山陽道に先行する道を行き交う人々に、吉備の大首長の権力を誇示したものと思われます。

しかしながら、作山古墳は、正円形の後円部をもち前方部の形態も整った畿内の大王墓や造山古墳に比べ、楕円形で前方部の前端が台形に突出するなど不整な形態をもっています。これは、長さや幅が不自然な自然丘陵をできるだけ手をかけず、長大にみせようとしたことによるものと思われます。

畿内の大王墓にみられる二重・三重の堀が認められないこと、また、本来なら取り除くべき前方部前面の丘陵がそのまま残されていることなどからも、作山古墳に葬られた吉備の首長は、畿内の大王ほど、古墳築造にかかる余力がなかったのではないのでしょうか。

なお、作山古墳には、盗掘された大きな穴は存在しないことから、古墳の主は今も後円部の中央地下深くに眠っているものと思われます。

平成22年(2010)3月 総社市教育委員会

参考ホームページ

https://www.city.soja.okayama.jp/bunka/kanko/shitei_bunkazai/kuni/kuni_07.html

<https://kofun.info/kofun/128>

<https://tokuhain.arukikata.co.jp/okayama/2020/12/10.html>

http://eprints.lib.okayama-u.ac.jp/files/public/4/48254/20160528090344199132/zouzankofun_067_071.pdf.pdf.pdf

<http://geo.d51498.com/qbpb900/sakuzan.html>

<https://okayama-labo.net/tsukuriyamakofun/>

<https://kaifuusoo-575.sakura.ne.jp/okayama-sakuzan.html>

<http://kasaoka.sub.jp/16/04/0429/2.html>

<http://blog.livedoor.jp/geibi/archives/55482061.html>

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~mt2000/Kibi-2.htm>

<https://ameblo.jp/hanagamankaida01/entry-12434518963.html>

<http://sohramame.hateblo.jp/entry/2017/12/31/150301>

